

ふるさとを想う

現在、ふるさとを言えば、何と云っても東日本大震災でしょう。新聞、テレビなどを見聞きするたびに、被災された皆さま方に、心より深くお見舞いを申し上げます。気落ちすることなく、頑張っていたくださく願ってやみません。

ふるさとを離れて、55年の年月、電話の掛け方も知らない坊主頭の田舎者が東京に出て以来、過ぎし日を顧みれば長いようで短いものですね。東京に出てサービスマスの会社に勤めていたために、よく「村上さんの田舎は？」と聞かれ「はい、福島県のあぶくま洞の近くの小野町です」と答えると「ああそう、良い所ではありませんか」と言われました。まったくそのとおり、と私も自負しております。

ふるさとを想う、と言われれば、小野町での小・中学校頃が強いですね。向かって右側が小学校、中に体育館、左に中学校。木造の廊下を走り回り、学校というと級友より先生方を思い出します。小学校の山崎先生、お姉さんみたいでした。中学校の先崎先生、木村先生、草野先生など、今でもすぐにお顔が目には浮かびます。中学校では、よく遅刻をしてしまい、風呂敷かばんを持って静かに教室に座ったものです。先生に注意された思いがなく不思議でした。

また小学校の頃、山間の小川のザリガニ捕りや、朝夕に、素足で田んぼに行き、竹で作ったあるドジョウ捕り籠を仕掛けに行ったものです。よくもマムシにかまれることなく済んだものです。

明神様祭りの獅子舞踊り、東堂山祭りも楽しみに行きました。アケビ採りやキノコ採りにもたびたび出掛けて、とにかく楽しかったですね。現代の子どもさんたちとは違ったことをしていたのでしよう。学問も学校以外ではさっぱりせず、農家のために近所の子どもたちが集まって、楽しく野仕事手伝いをしました。さりとて社会に出て、国語、算数ができれば、私は、何ら不自由することはありませんでした。現在は、52年間の勤めを辞め、今は趣味に明け暮れております。その中でも、最近では民謡で新相馬節を謡って賞を頂いております。最後になりますが、現在悩みの原発被災です。特にこれは、時の流れによる人災と私は思っており、悲しい次第です。これ以上の被災は、一日も早く無に帰していただくよう、遠足で登った矢大臣山、より高い大滝根山にわがふるさとを少しでも守っていただくように、願っております。



村上 吉之助
(小野赤沼出身/千葉支部)

小野中学校建設だより

校舎および屋内運動場改築工事の進ちょく状況についてお知らせします。



校舎改築工事の状況

校舎については、現在、給食センター棟のサッシ取り付け工事を行っており、今後、外壁塗装工事を行う予定です。また特別教室棟は1階部分の基礎工事を行っています。

屋内運動場については、アリーナ部の集成材(町有林杉材を使用)の建て方と屋根工事を終え、今後、外壁塗装工事を行



屋内運動場改築工事の状況

う予定です。またアリーナ部に併設して建設している武道場は1階部分の基礎工事を行っています。

校舎および屋内運動場の建設工程については、東日本大震災などの影響により旧校舎・旧屋内運動場ともに被災し、危険を伴うことから、解体工事の前倒しに着手したほか、仮設教室の設置計画などの見直しを行いながら工事を行っています。

生徒や保護者の皆さんをはじめ学校関係者にはご不便をお掛けしますが、引き続き安全面や教育面に配慮しながら工事を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

問 教育課施設整備室
72-6780